

きゅうくろきかいしゆんどういん
旧黒木回 春堂医院

所在地：日置市吹上町永吉

構造規模：木造平屋建，瓦葺，面積 52 m²

竣工：昭和3（1928）年

通り沿いに建つ木造平屋建。建築面積 61 m²，棧瓦葺で，両妻を半切妻とする。外壁は，内法間を下見板張として周囲に縦長の上げ下げ窓を配し，その上下は豎板張とする。玄関の欄間や軒下の持ち送りを洋風意匠で瀟洒に飾る，白色の外観が印象的な医院建築。

登録有形文化財 46-0047 平 19.10.2 登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



もりやまけ じゅうたくきゅうさぎょうば
森山家住宅旧作業場

所在地：始良市加治木町朝日町 172

構造規模：木造平屋建，スレート葺，面積 80 m²

竣工：江戸末期

主屋の後方に建つ。建築面積 80 m²，木造平屋建，波形スレート葺。島津斉彬が嘉永4年に興した集成館事業の建物を移築改造したと伝える。外壁は波形鉄板張であるが，軸組は古材をよく残しており，地棟木に架けた登梁に母屋束を立てるなど，独特な架構法になる。

登録有形文化財 46-0048 平 19.10.2 登録

登録基準：造形の規範となっているもの

そのけ じゅうたくしゅおく
園家住宅主屋

所在地：奄美市笠利町用安字竹作 167-1

構造規模：木造平屋建，鉄板葺，面積 85 m²

竣工：明治期／昭和18(1943)年

・昭和25(1950)年頃移築改修

丘陵地に屋敷地を構え，オモテとトオゴラからなる分棟型の主屋が庭園の西奥に建つ。オモテは寄棟造鉄板葺で，トコと棚を備える主室8畳とネシヨ，コザからなり，玄関を構える。ヒキモンとよぶ横架材を使う構造で，奄美の伝統的な平面をよく伝える。

登録有形文化財 46-0049 平 19.12.5 登録

登録基準：造形の規範となっているもの



あまみ やまみんぞくむらきゅうやすだ け じゅうたくしゅおく
奄美ばしや山民俗村旧安田家住宅主屋

所在地：奄美市笠利町用安字車万川 1505-1

構造規模：木造平屋建，鉄板葺，面積 66 m²

竣工：江戸末期／平成15(2003)年移築

分棟型民家のオモテ部分で，桁行4間半梁間3間半，寄棟造鉄板葺とし，正面左手に玄関を設ける。室内は，玄関奥に4畳半のコザを前後に並べ，右手に主室10畳を配する。主室にはトコと棚を設ける。奄美における古い形態を伝える住宅である。

登録有形文化財 46-0050 平 19.12.5 登録

登録基準：造形の規範となっているもの

